

近年急速にコリアンネタ本 & 在日コリアン作家が増えましたよね。その中の一部を編集者が独断で選び紹介します。冬のなが~い夜を本と共に過ごしませんか？新しい自分と出会えるかも...

高校時代を思い出す...？

民族学校から私立高校に進学した主人公が繰り広げる在日コリアンストーリー。桜井と付き合うようになった杉原。しかし自分が在日韓国人であるとなかなか言えない。そのうちある事件が起きて...。国籍、名前、家族、在日コリアンを取り巻く様々な問題を自分なりに消化しようとする杉原の姿は誰もが思い当たるはず。映画化された在日コリアンの認知度はますます高まった。これをどう生かすか？今度はそんな問いかけが私たちに投げかけられる。



金城一紀 著
定価 1400円 講談社

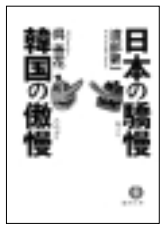
キムチが150種類以上って知ってた？



定価 1400円
NHK 出版

写真を見ただけで食欲おどる魅惑の1冊。古代から現在までの韓国食文化をわかりやすく説明。各地方の特産品も紹介しており、「ソウルとプサンしか行ったことがない」という人には特にオススメ！庶民の智慧が集結した韓食伝統の味と技にただ脱帽するばかり。

異色タッグの韓日対談



渡部昇一・呉善花 著
定価 476円 + 税
徳間文庫

論評家渡部昇一と女流作家呉善花が韓日の歴史認識、文化、政治などを鋭く語り合う。今までのようにお互いに自分達の言い分を押し通すよりも、きちんと相互理解ができる成熟した韓日関係の確立が必要だと考えさせられる。

時代に翻弄される2人の女性



本田節子 著
定価 1200円
文藝春秋

李王朝最後の皇太子李垠殿下と皇族梨本宮方子女王は大日本帝国による政略結婚であった。しかし殿下には王族のしきたりによって定められた婚約者閔甲完がいた。日帝時代、方子妃は殿下の愛情に恵まれながらも朝鮮国民には受け入れられず、甲完は儒教の教えである貞節を守り通す為に母国から離れざるを得なくなる。朝鮮解放後も時代によって振り回され続けた2人の女性の数奇な運命をたどる人物史。

納得！コリアンビューティーの極め方！



コイケ ケイコ・ジョン ウンスク 著
定価 714円 + 税
祥伝社黄金文庫

ソウルを中心に各種サウナ、温泉、エステ、トータルビューティー、食事法など「キレイ」を手にする為に日本と韓国の2人の女性が東奔西走するリポートエッセイ。かわいいラスト・写真がたくさん入り、2人と現地の人々との温かいふれあい(?)には思わず笑いが...。読むだけでキレイになれるかも！